

研究事業 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)に関する研究事業 (エコチル調査コアセンター)

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- 大規模で長期にわたる重要な調査研究事業であり、国際的にも高い評価が期待される。
- プロジェクト協力者の脱落を回避するため、参加者とのきめ細やかなコミュニケーションを重ね、順調に調査研究を進めていることを高く評価する。

今後への期待など

- 10万人に及ぶ対象者が確保され、継続的に成果が蓄積されることが期待される。
- 成果の論文化とともに、引き続き、一般市民に向けた成果発信にも努めて欲しい。

主要意見に対する国環研の考え方

- ①子どもの健康と環境との関連性を解明するという目標に向かって調査を進めるため、今後も参加者とのコミュニケーションを重視し、調査継続に努めます。参加者へ調査結果の一部を個別に通知するとともに、コアセンターが発行するニュースレターの送付、各地域のユニットセンターが作成する各種広報誌の配布や参加者向けの各種イベントなどを通じて、エコチル調査への参加意識を高める活動を継続いたします。
- ②出生コホート研究の特徴を活かした長期的な視野に立った解析と子どもの成長段階毎に意味ある解析とのバランスをとって、成果のとりまとめ発信に努めます。また、国際的に評価される成果発信を目指し、エコチル調査全体の研究力を高めるための場の醸成をコアセンターとして積極的に進めて参ります。
- ③これまでも国民向けの広報活動を環境省とともに進めてきましたが、研究成果をわかりやすく伝えるためのスキルアップを図るなど、今後はさらにアウトリーチ活動に注力したいと思います。